

文化庁におけるメディア芸術振興のための取組

平成21年1月29日

文化芸術振興基本法(平成13年法律第148号)(抄)

第三章 文化芸術の振興に関する基本的施策

(芸術の振興)

第八条 国は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術（次条に規定するメディア芸術を除く。）の振興を図るため、これらの芸術の公演、展示等への支援、芸術祭等の開催その他の必要な施策を講ずるものとする。

(メディア芸術の振興)

第九条 国は、映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術（以下「メディア芸術」という。）の振興を図るため、メディア芸術の製作、上映等への支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

文化芸術の振興に関する基本的な方針(平成19年2月9日閣議決定) (抜粋)

第1 文化芸術の振興の基本的方向

3. 文化芸術の振興に当たって重点的に取り組むべき事項

(1) 重点的に取り組むべき事項

ii) 日本文化の発信及び国際文化交流の推進

日本文化の発信及び国際文化交流を進める際には、それらの活動が国のイメージに大きな影響を与え、他方で世界の平和や繁栄にも貢献するという意味で外交的側面も有するという観点や、国内の文化芸術振興という観点に留意しつつ、関係府省等が連携していくことが重要である。

また、日本の伝統文化だけではなく、現代の文化芸術創造活動を積極的に海外に発信し、アジアをはじめとする海外の文化芸術振興に資するよう、国際文化交流の施策を検討していくことが必要である。その際には、アニメ、マンガ、音楽等の「ジャパン・クール」と呼ばれる分野も文化発信の上で重要な役割を担っており、メディア芸術などの新しい文化芸術の国際的な拠点を形成することも検討する必要がある。

第2 文化芸術の振興に関する基本的施策

1. 各分野の文化芸術の振興

(2) メディア芸術の振興

近年の情報通信技術等の進展に伴い、メディア芸術は、広く国民に親しまれ、新たな芸術の創造や我が国の芸術全体の活性化を促すとともに、諸外国から「ジャパン・クール」として注目を集め、我が国への理解や関心を高める媒体ともなっていることを踏まえ、次の施策を講ずる。

- 文化庁メディア芸術祭の一層の充実を図るとともに、メディア芸術分野に関連する大学、美術館等との連携強化を図り、その創造活動を促進する。また、我が国の優れたメディア芸術を積極的に諸外国へ発信する。
- 大学等と連携しながら若手クリエイターに専門的研修や国際共同制作等の機会を提供することにより、次代を担う優れた人材を育成する。

メディア芸術振興総合プログラム

創造的人材の育成 12百万円【12百万円】

若手クリエイター創作支援事業【12百万円】
将来有望な若手クリエイターを発掘し、作品制作を支援することにより人材を育成する。

平成20年度予算額 544百万円
平成21年度予定額 542百万円

メディア芸術の総合的発信 509百万円【508百万円】

文化庁メディア芸術祭【335百万円】
アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門のメディア芸術の総合的祭典としてメディア芸術祭を通じた創作活動、国内外への発信を強化し、ジャンルを融合した展示やデモンストレーション等で展示の一層の充実を図る。

メディア芸術プラザ【45百万円】
メディア芸術祭関連情報や入賞作品の掲載のほか、メディア芸術の動向に関する最新情報をウェブ上で提供する。

メディア芸術祭海外展【129百万円】
文化庁メディア芸術祭の優秀作品をアメリカ、アジア、ヨーロッパで開催されるメディア関連の芸術祭に出品するほか、海外展を実施し、作品展示上映に加え、解説、デモンストレーション等により、最新の我が国メディア芸術を紹介する。

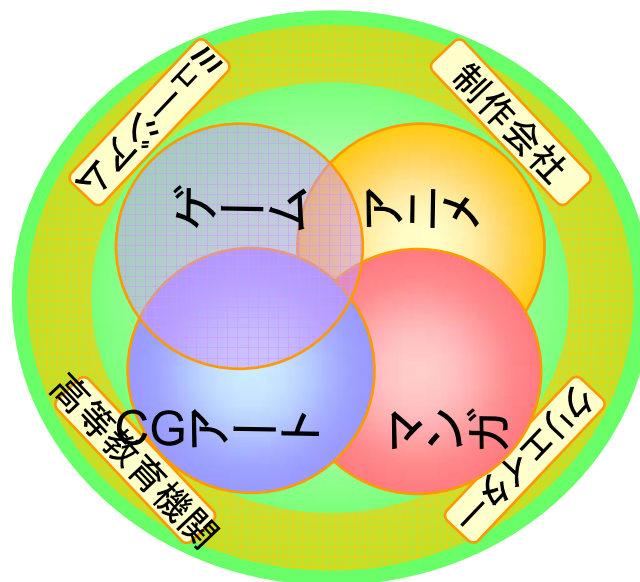
推進拠点とネットワークの形成 21百万円【24百万円】

メディア芸術ラボラトリー支援事業【12百万円】

国内各地のメディア芸術拠点のラボラトリー(工房)等を利用して行う企業R&D、大学等の研究者、クリエイターによる共同研究、創造活動、人材育成に関する事業を支援する。

メディア芸術の国際的な拠点形成のための調査研究【9百万円】

我が国のメディア芸術の一層の振興を促す観点から、若手クリエイターの創作環境を支援するとともに、我が国の優れたメディア芸術を積極的に諸外国に発信するための国際的な拠点を形成するための方策について調査研究を実施する。



文化庁メディア芸術祭

- 日本のメディア芸術の振興のため、平成9年度に開始
- 顕彰（部門毎に 大賞1作品、優秀賞4作品、奨励賞1作品）、受賞作品の展示・上映、シンポジウム
- 永年の功績に対し、功労賞（1名）を顕彰

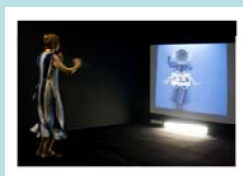
アート部門

デジタル技術を用いて
作られたアート作品

- ・インタラクティブアート
- ・インスタレーション
- ・映像 ・静止画
- ・Web など

平成20年度 [第12回] 大賞

「Oops!」



©Oops!

エンターテインメント部門

デジタル技術を用いて
作られたエンターテインメント作品

- ・ゲーム ・遊具
- ・映像(VFX、CMなど)
- ・キャラクター ・Web など

平成20年度 [第12回] 大賞

「TENORI-ON」



©岩井俊雄 / ヤマハ株式会社

アニメーション部門

- ・長編アニメーション
- ・テレビアニメーション
- ・オリジナルビデオアニメーション
(OVA)
- ・短編アニメーション など

平成20年度 [第12回] 大賞

「つみきのいえ」



©ROBOT

マンガ部門

- ・ストーリーマンガ
- ・コママンガ
(四コマ、一コマなど)
- ・オンラインマンガ
- ・自主制作マンガ

など



平成20年度
[第12回]
大賞
「ピアノの森」

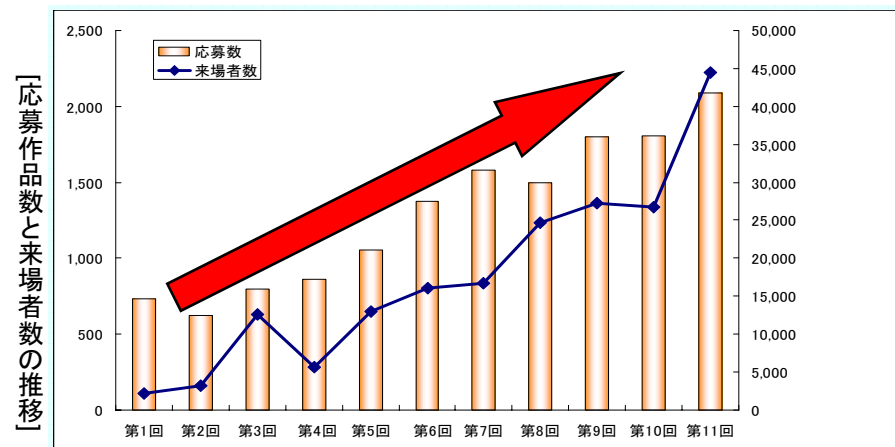
©一色まこと / 講談社

メディア芸術祭の特徴

- プロとアマの垣根がなく、誰でも出品
- 個人作品と商業作品を区別することなく、作品本位で評価
- 4つの部門を1つの「メディア芸術祭」に包含

メディア芸術祭の動向

- 高まるメディア芸術祭への認知



- 国内外へのアピール

(国内)

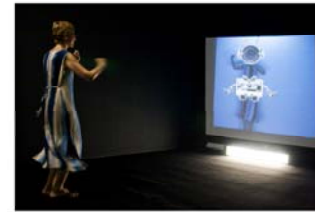
- メディア芸術祭
- 地方展

(海外)

- メディア芸術祭海外展
- 海外でのフェスティバルでブース

2008年度メディア芸術祭の受賞作品

- アート部門大賞 「Oups!」
マルシオ・アンブロジーオ(ブラジル)
- エンターテインメント部門大賞 「TENORI-ON」
岩井俊雄
「TENORI-ON」開発チーム代表 西堀佑
- アニメーション部門大賞 「つみきのいえ」
加藤久仁生
- マンガ部門大賞 「ピアノの森」
一色まこと





文化庁メディア芸術祭
JAPAN MEDIA ARTS FESTIVAL
IN SINGAPORE 2008

8Q sam ·22 Nov-14 Dec ·www.singart.com/jmaf08/

Exhibition of Award-winning Works 受賞作品展

2009.2.4 - 15
Wed Sun

国立新美術館

東京・六本木 / 入場無料 / 10:00-18:00
金曜は20:00まで / 2月10日(火) 休館

アクセス:
東京メトロ千代田線乃木坂駅6出口(美術館裏側)
東京メトロ日比谷線六本木駅4a出口から徒歩5分
都営地下鉄大江戸線六本木駅7出口から徒歩4分

The National Art Center, Tokyo

Admission Free / 10:00-18:00
Open until 20:00 on Fridays
Closed on Tuesday, February 10th

主催: 文化庁メディア芸術祭実行委員会
Organizer: Japan Media Arts Festival Executive Committee
TEL 0120-45-4536
<http://plaza.bunka.go.jp/>

文化庁 国立新美術館 CC-ARTS協会



テクノロジーやメディアの進化とともに変わりゆく
“メディア芸術”。アート、アニメ、映像、ゲーム、
ウェブ、マンガなど、世界44ヶ国・地域の2,146
作品から選ばれた作品が一堂に、シンポジウム
やワークショップなど多彩なイベントも開催。
時代を切り拓く作品を通して、未来へのつなが
りを体感出来るフェスティバルです。

未来をつなぐ。

JAPAN
MEDIA ARTS
FESTIVAL 12th
平成20年度【第12回】
文化庁メディア芸術祭